

湖東普及だより

H25
夏号

編集発行 滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：田口稔幸）
〒522-0071 彦根市元町4番1号
TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp
ホームページアドレス：http://www.pref.shiga.lg.jp/hikone-pbo/nogyo/

近江米新品種「みずかがみ」 産地化スタートダッシュ事業始まる

「みずかがみ」は高温に強くて品質がよく、良食味であることを目指し、県で新たに育成された品種です。湖東管内では19農家（団体）、約12ha（県内では約150ha）で初の栽培が行われています。栽培ほ場の目印は環境こだわり農産物の看板とともに設置されているオレンジ色の看板です（右写真）。秋頃には来年度の生産者の募集も始める予定です。県内で1,000haの作付を目指し、PR活動も進めていきます。



「みずかがみ」の看板

「みずかがみ」の主な特長

- ・コシヒカリに比べ出穂期は3日、成熟期は4日程度早い（下表）。
- ・稈長はコシヒカリよりも短く、キヌヒカリ並の短稈で倒伏しにくい（下表、下左写真）。
- ・高温年でも乳白、心白のような未熟粒が出にくい。（下右写真3枚）
- ・あっさりした味わいでありながら、かみしめると甘みがあり、冷めてもおいしい。



みずかがみ コシヒカリ キヌヒカリ

稈長の比較

「みずかがみ」の品種特性

	出穂期	成熟期	稈長 cm	玄米収量 kg/10a	外観品質 ※
みずかがみ	7月25日	8月27日	84	559	4.1
コシヒカリ	7月28日	8月31日	95	541	5.6
キヌヒカリ	7月29日	9月1日	83	534	5.8

2009～2012年 5月10日中苗移植 近江八幡市安土町大中におけるデータ

※外観品質は数字が小さい方がよい。（概ね5.0以下で1等相当）



みずかがみ



コシヒカリ



キヌヒカリ

玄米外観品質の比較

ナバナを作ってみませんか

ナバナについて

ナバナは、栽培が簡単で、女性や高齢者でも取り組みやすい秋冬野菜です。また、特別な機械装備の必要がなく初期投資が小さく済む品目です。

当課では、水田を利用した野菜生産の一環として、東びわこ農協と協力してナバナの栽培を推進しています。当管内のナバナは平成23年度から市場出荷向け栽培が始まっており、平成24年度は13戸約90aで栽培が行われましたが、市場の需要に対して栽培面積がまだまだ少なく、十分供給出来ていないのが現状です。



ナバナ

ナバナは、収穫の労力は掛かりますが、軽作業が主で12～3月に継続的に出荷できます。小面積でも高収益を目指せる品目として有望です。今年度は、栽培研修会の開催や定期的な圃場巡回・栽培資料の配付など、技術支援を行なうよう計画しております。

興味のある方はナバナの栽培に取り組んでみてはいかがでしょうか。



摘芯前のナバナ



収穫時の姿

ナバナの栽培暦

	8月			9月			10月			11月			12月			1月											
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬									
露地栽培	←			播種									収穫 (3月まで)														
品種：花飾り	土壤改良資材 排水			施肥			粒剤施用 除草剤			間引き 1回目			間引き 2回目 追肥 中耕			防除			摘芯			追肥			追肥		

とよ坊かぼちゃんで6次産業化

とよさと特産物振興協議会の取り組み

6次産業化とは「農業者自らが生産する農産物により、新たな加工や販売に取り組み、地域の活性化を目指した取り組み」で、当課としても精力的に支援しています。

坊ちゃんかぼちゃは1個が500g前後のミニかぼちゃで、たんぱく質、糖質、ベータカロチンが一般のかぼちゃと比べて多い、栄養たっぷりの野菜です。とよさと特産物振興協議会では、この坊ちゃんかぼちゃに「とよ坊かぼちゃん」という愛称を付け9年前から特産化に取り組み、今年度の栽培面積は140aと年々拡大しています。

栽培は、集落営農組織がブロックローテーションの一部に組み入れたり、女性グループの育苗ハウス利用、荒廃した水田を開墾して栽培するなど、5団体と9戸の農業者が取り組んでいます。



とよ坊かぼちゃん生産者のみなさん

堆肥を畑にたっぷり投入し、くず大豆をすき込むなど土づくりを念入りに行い、農薬を極力控えた栽培で滋賀県環境こだわり農産物の認証も受けています。土に接している部分が黄色く変色することを防ぐため「白いプラスチックの容器」をひとつひとつのかぼちゃの下に敷きます。これは栽培中一番の重労働です。苦勞の結果、年々品質も収量もよくなってきています。

これまではお盆前に量販店向けの出荷が主流でしたが、滋賀県の食品事業者との商談会などに参加することで県内のホテルで料理に使っていただけるなど販路も拡大しています。昨年からは果皮にキズがついたもの、変形したものなど規格外品の加工にも挑戦しています。



蒸どらやきの加工

最初に商品開発を行ったのが「プリン」です。かぼちゃの裏ごし度合い、配合割合、蒸し焼きの温度と時間、省力的な加工方法等を課題に試作を重ね、とよ坊かぼちゃんの濃厚な風味と果肉の濃いオレンジ色を生かしたプリンが完成しました。プリンは年間1,000個の販売目標を4ヶ月で達成できました。つづいて「丁稚羊羹」「蒸どらやき」の商品化ができ、観光案内所、JAの直売所等で販売しています。

加工に従事しているとよ坊かぼちゃんの生産農家の女性たちが「自分たちの生産物にいつそう付加価値をつけたい」という意欲と熱意をもったことが商品化につながり、好調な売れ行きを生む結果となっています。



プリン

農薬を正しく安全に使用しましょう

農薬を使用する前には、もう一度ラベルをよく読みましょう

農薬取締法や滋賀県農作物病虫害雑草防除基準では、農薬を使用する者が守らなければならない事項、守っていただきたい事項を定めています。以下の点に留意して農薬の安全・適正な使用に努めましょう。

- 農作物等に農薬を使用するときは、次に掲げる基準を遵守する。
 - ・ラベルに記載されている農作物のみに当該農薬を使用すること。
 - ・使用量・希釈倍数・使用時期を厳守すること。
 - ・各有効成分ごとの総使用回数を超えて使用しない（種苗を用いる場合は、種苗に表示のある有効成分ごとの農薬の使用回数を勘案する必要があります）。
 - ・最終有効年月を過ぎた農薬を使用しないようにしてください。
- 農作物等・人畜・水産動植物に害を及ぼさないようにすること。
- 農薬保管・使用にあたっては、飛散・流出・揮散しないようにしてください。
- 農薬は鍵のかかるところで、食品等の他のものと区別して保管してください。



滋賀県では、病虫害の発生状況や防除に関する情報について
下記のホームページにて随時情報を提供しています。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/byogaichu/>

県立農業大学校 学生募集のお知らせ

農業大学校（所在地：近江八幡市安土町大中503）では養成科と就農科の学生を毎年募集しています。同校では農業を行う上で役立つ知識や技術が学べます。詳しくは教務担当（電話：0748-46-2551）もしくは当課までお問い合わせください。

なお、就農科への出願には、農地確保の見通しが確実なこと、および就農予定地の農業農村振興事務所農産普及課の推薦が必要となりますのでお早めに準備ください。

養成科の願書受付および試験期日

	推薦入試	一般入試	
		一次	二次
募集人数	20名程度	10名程度	定員に達した場合は実施しない
願書受付期間	平成25年 10月1日～10月11日	平成25年 11月13日～11月26日	平成26年 1月23日～2月5日
試験期日	平成25年10月28日	平成25年12月10日	平成26年2月17日

○養成科

- ◆ 修業年数 2年
- ◆ 専攻コース 作物、茶、野菜、花き、果樹、畜産
- ◆ 応募資格 (推薦入学) 高等学校長が推薦する者で要件を満たす者
(一般入学) 高校卒業もしくは卒業見込みの者。または、同等以上の学力を有すると本校校長が認めた者

○就農科

- ◆ 修業年数 1年 ◆ 専攻コース 野菜、花き、果樹
- ◆ 応募資格 18歳以上65歳未満（平成26年4月1日現在）で、県内で農業経営を行うことが確実な者。

※就農科の募集は詳細が未定です（6月6日現在）。詳しくはお問い合わせください。